朝日地区水面利用計画整備イメージ整理図

S=1:10,000
0 25 50 100 250 500(m)

黒文字…第１回意見交換会の意見
青文字…第２回意見交換会の意見

事業の進め方

●●●●●①川を利用する人はカヌー、釣り、その他さまざま。
対等なものとして事業を進めて欲しい。
●②経費をかけたらそれ以上に収入が入るように考えて事業を進めて欲しい。
維持管理は大変。

整備の方向性

●カヌー利用者（レジャー）の視点
●カヌースポーツの振興（競技）の視点
●漁場保全の視点
●地域資源（魅力）の保全の視点
●地域（観光産業）の活性化の視点

●地元活性・土地利用の視点

●町づくりの視点

◆カヌーは自然を満喫するスポーツ。過度な整備はいらない。必要最小限の不便の解消でよい。
◆朝日町は競技・レジャーカヌーの日本で屈指のゲレンデをつくれる場所。大会を誘致し、町起こしの足がかりに。
◆釣り人とカヌー利用者のトラブルがないように。
◆地域の宝、最上川の景観を壊すことの善し悪しを考え、過度な整備を避ける。町民のカヌーへの意識を高める工夫。
◆カヌー利用客・一般客両方の利便を考えた整備。多くの人が朝日町にきて、お金を落としていただくしくみを。
◆町民・カヌー利用者の双方の利用を考えた整備。人の輪に関われるしくみづくり。
◆カヌー利用者がマナーを守るように。
◆家族連れが憩える場の整備。
◆雪谷と玉ノ井の環境整備は競技カヌー大会開催における問題点に配慮した対応をすべき。



雪谷地区の整備

●①農道から平場への車の出入りが不便。出入り口の改良を。
●②駐車場として利用している平場が大雨でぬかるむ。でこぼこ。
平場の整地。砂利敷きを。
●③トイレ、更衣室がないので、玉ノ井のカヌーランドと同規模の施設整備を。
●④利用のマナーに関する立て看板を。

玉ノ井地区の整備

●①川から農道に上がる徒歩アプローチの整備を。
●②川沿いの平場は増水時水没するため、駐車スペース整備はいらない。
カヌーランドを利用。
●③大会開催時には駐車場が不足する。拡大整備を。
●④利用のマナーに関する立て看板を。

看板設置・支障物の撤去・競技カヌーのゲレンデ整備・ビューポイントの整備・駐車スペースの整備・カヌーと釣りの兼ね合い

●①雪谷から玉ノ井までの区間を川下り区間として看板の設置を。
●②川の中にH鋼・テトラポット・電線があり、カヌー利用上危険。
撤去もしくは移動を。
●③カヌー利用者は水量や流れに応じて好きなところで休憩する。
カヌー利用者用の休憩スポットはいらない。
●●④大会を誘致し、競技カヌーのゲレンデ整備を。
●●⑤カヌーのビューポイントの整備を（国道278号）。
●●●⑥林道の周辺に釣りやカヌー客の駐車スペースの整備を。
●⑦区間内に釣りポイント８箇所有り。カヌーと釣りの兼ね合いは今後の課題。
●⑧川沿いに家族連れが憩える場の整備を。

宿泊施設の整備

●●①カヌーイベントと温泉施設のタイアップ
●●②大会を誘致する際には、宿泊施設の整備が課題。民泊など。
●●③テントスペースを整備し、利用料を徴収する。

水面利用のマナー向上

●●●①釣り人とカヌー利用者のトラブルがないように。
釣り人とカヌー利用者のマナー向上。
●●②利用者が駐車場の草刈りを行う。

最上川をきれいに

●●●●●①カヌーや川遊びは水がきれいでなくてはならない。
カヌーを通して川をきれいにしていこうという運動が必要。
●●②利用者はボランティア精神で草刈り・ゴミ拾いを手伝って欲しい。

朝日地区の水面利用の活性化に対する町民の意識

●①町全体がカヌーという形での沸き立つ声があがっていない。
町民・カヌー愛好家が関心をもてるような運動を起こすことが必要。
●●②一般町民のカヌーに対する意識を高める工夫として、
舟運文化の歴史を総合学習の中で学ばせるようなことも必要。
●③町民の最上川への理解を深めるためのカヌー教室、ネイチャークラブを開催。
町自体が最上川の川を使ってまず楽しめることをやってからカヌーという視点で町を見てみようという取り組みを行うことが必要。